

キャラクター名	プレイヤー名
灰波影家	

メインクラス	ランページ	Lv.1:		レベル	45
サポートクラス	バトル	Lv.1:	カンナギ	性別	女
称号クラス				年齢	404
種族	フェイ：ノッカー			境遇	
出自(効果)				目標	

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	11	59	58	6	57	6	12
ボーナス	3	19	19	2	19	2	4
クラス修正	0	1	4	0	2	1	0
他修正			5				-1
能力値	3	20	28	2	21	3	3

HP	424
MP	332
フェイト	79

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	霧切の廻灯/武器強化/死を運ぶ刃s13/黒羽根/コバノツクノカゲ		2	74		-5	-3	-1	
左手	exS1麒麟の角/武器強化/死を運ぶ刃s13/黒羽根/コバノツクノカゲ		3	38				-1	
頭部	S1シャドウハレ		2		3	5			
胴部	S1コンバットクローク					6			
補助	時の砂時計					3			2
装身具	黒羽根のイヤング								
能力値			20	0	28	0	3	49	8
スキル	am短剣/ツイエ/sp短剣/ホーパル/ダガーアーツ		1	26	3				
その他	漆黒星/双子		1	4				1	
総計(右)			26	104					
総計(左)			27	68	34	9	0	48	10
総計(両)			29	142					m
ダイス数			4 d	2 d	4 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	21			21	+ 2 d
トラップ解除	20			20	+ 2 d
危険感知	21			21	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定	2			2	+ d
呪歌判定	3			3	+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
異次元バッグ	消費
ホーショルダガー	GHPP*5
小道具入れ	消費
ヘルポーチ	GMPP*5
漆黒の星	消費
ジェミニカード	HMPP*4
ムガモリの角笛	消費
生命の呪符	蘇生薬*2
天竜	消費
	転移の呪符*3
勇気のホップル*12	3500G/1 消費

現在重量：	19	所持金：	5554265	預金・借金：	
最大重量：	22				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
フェイ：ノッカー	★			Pas				
効果：	異探知、危険感知、異解除判定+2							
アビデクスタリティ	1			Pas				
効果：	略							
AM；短剣	1			Pas				
効果：	短剣使用中+1D							
インタラプト	1			Eff	視	単	自	シリア1
効果：	略							
チャリツグ/(初2)セクリッドダンスs13	2	6+6		Set		自	精	
効果：	全判定+1D CleでMPを5点支払う限りシソ持続							
アビリティルーン	1			Pas				
効果：	任意の能力値(=敏捷)+2							
ツインフェンサー	1			Pas				短剣
効果：	武器使用中+1D							
スペシャライズ：短剣	1			Pas				
効果：	短剣使用中+sl ダメージ+sl							
ホーパルアーツ	5			Pas				短剣
効果：	武器攻撃ダメージ+(sl*5)							
エピソードハンド	1			Pas				sp短剣
効果：	武器攻撃ダメージ+敏捷							
バタフライダンス	1			Pas				
効果：	回避+1D							
ダガーアーツ1	1			Pas				
効果：	回避+(sl+2)							
インデュイション	1			Pas				
効果：	敏捷判定+1D							
イクストリアン	1			Pas				騎乗
効果：	敏捷/感知判定+2							
コンパニオン	1			ltm				
効果：	騎竜を取得							

姓は灰波、名を影家 灰波影家とは、フェイ：ノッカーの剣士のことである。
そのルーツを遡れば、約200年前、アオイ家がタイクーンとして成立した頃にまで行きつく。
時のライデン藩、灰波衆の根城である領域は、タイクーンが君臨したことに危機感を抱いていた。そこで彼らは、深海の領域より持ち帰ったとある呪術を実践に移すことにした。
この呪術は、ライデンの地が信仰するタケツツ、つまりはグランアインの能力を身に宿す者の顕現を目的としたものであり、絶対的な武力を持つ者をタイクーンに当てることで、ダイワの支配を狙ったものであった。
結論から言えば、この企ては失敗に終わる。神卸しなどという大層な呪術が易々と成功するはずもなく、ヒューリン、エルダナーン、ヴァーナ、フィルガル、様々な種族を「神の費」にささげようとした結果、できたのは意思を失い言葉が話すことすらままならぬ大量の肉人形であった。
肉人形は呪術を用いて、中途半端な武力を得てその身を動かす。その数が数百を超えた頃、導きだされた結論は「習熟した精神を持ち、人間の肉体ではない体の出で立ちを携える者」でなくては、神の力と意思を体現することはできないというものだった。
その点を踏まえて、改めて行われた成功するであろうと思われる試みは、尚も失敗に終わった。
彼女は意思を持ち、常人に比べれば極めて強大な武力を保持していたものの、それは数多の敵を一人でなぎ倒すという灰波衆の目的に比べれば、足元にも及ばぬモノだった。確かに武力は有していても、その実力が足りたかといえば、答えは否であったのだ。
それでも彼女はその力を以て灰波衆の武装集団を全て刀で斬り倒してしまった。
呪術の執行者、灰波一編は、彼女に「灰波影家」の名を与え、ライデン藩の藩主として彼女を祭り上げ、灰波衆の立場をある程度の位置まで成り上げた。

これが200年前程の出来事である。

483d8b
PL：葉
PC：灰波影家 (カイナミカゲイエ)
族：フェイ：ノッカー

